

物価高騰や人件費増による経費負担の増加により収益厳しい

経済活動正常化の動きが顕著となるも、人手不足の長期化など問題が山積

～景況 DI 値は、前年同月比7.9ポイント低下のマイナス10.5～

*DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

1. 5月鳥取県内の中小企業景況

売上（受注）高 製造業では、DI 値前月比5.3ポイント低下のマイナス15.8、前年同月比同水準のマイナス31.6。非製造業では、前月比63.1ポイント上昇のマイナス5.2、前年同月比26.3ポイント低下のプラス26.3。

販売（受注）価格 製造業では、DI 値前月比5.3ポイント低下のプラスマイナス0、前年同月比同水準のプラス26.3。非製造業では、DI 値前月比21.2ポイント上昇のプラス10.6、前年同月比0.1ポイント上昇のプラス36.9。

収益状況 製造業では、DI 値前月比10.5ポイント上昇のマイナス15.8、前年同月比5.3ポイント上昇のマイナス47.3。非製造業では、前月比31.6ポイント上昇のマイナス10.5、前年同月比10.5ポイント低下のプラス10.5。

資金繰り 製造業では、DI 値前月比5.3ポイント上昇のマイナス10.5、前年同月比同水準のマイナス42.1。非製造業では、前月比26.3ポイント低下のプラスマイナス0、前年同月比10.6ポイント低下のマイナス10.6。

雇用人員 製造業では、DI 値前月比5.3ポイント低下のマイナス5.3、前年同月比5.3ポイント低下のマイナス15.8。非製造業では、前月比5.2ポイント上昇のプラス10.5、前年同月比5.2ポイント低下のマイナス10.5。

景況 製造業では、DI 値前月比5.2ポイント低下のマイナス36.8、前年同月比10.5ポイント低下のマイナス42.1。非製造業では、前月比31.6ポイント上昇のプラス15.8、前年同月比5.2ポイント低下のプラス21.1。

県内中小企業の景況は、全業種景況 DI 値は、前月比13.0ポイント上昇のマイナス10.6、前年同月比7.9ポイント低下のマイナス10.5となった。製造業では、依然として多くの業種で原材料価格の高止まりが続くほか、最低賃金上昇等による人件費の増加、電気代や副資材、消耗品等諸経費の値上げの影響により収益を大きく圧迫している。非製造業では、4年ぶりの行動制限のない大型連休、全国旅行支援の効果により観光産業が景気を後押しし、大きく業況が好転したほか、新型コロナの5類移行に伴い、人流も活発化したことで商店街や飲食店へ消費の動きが波及した。県内景況は、新型コロナの影響はほとんど見られず経済活動正常化の動きが顕著となっているものの、長引く原材料及び電気料金等エネルギー価格高騰の影響や人件費増による経費負担の増加により収益は厳しく、価格転嫁に伴う受注（販売）量への影響も製造業を中心に深刻化している。食品や生活必需品、電気代の再値上げ、人手不足の長期化など問題が山積しており、先行き見通しは依然として厳しい。

2. 企業倒産（株帝国データバンク調べ）

5月の全国倒産は、件数694件で、前年同月を34.2%上回り、13カ月連続で前年同月比増加となった。負債総額は2,797億4,000万円（負債総額1,000万円以上）で、前年同月を大幅に上回った。2ヵ月連続で2,000億円を超えたのは2012年11月以来、10年6ヵ月ぶり。不況型倒産の構成比は81.1%（対前年同月4.5ポイント増）を占めた。

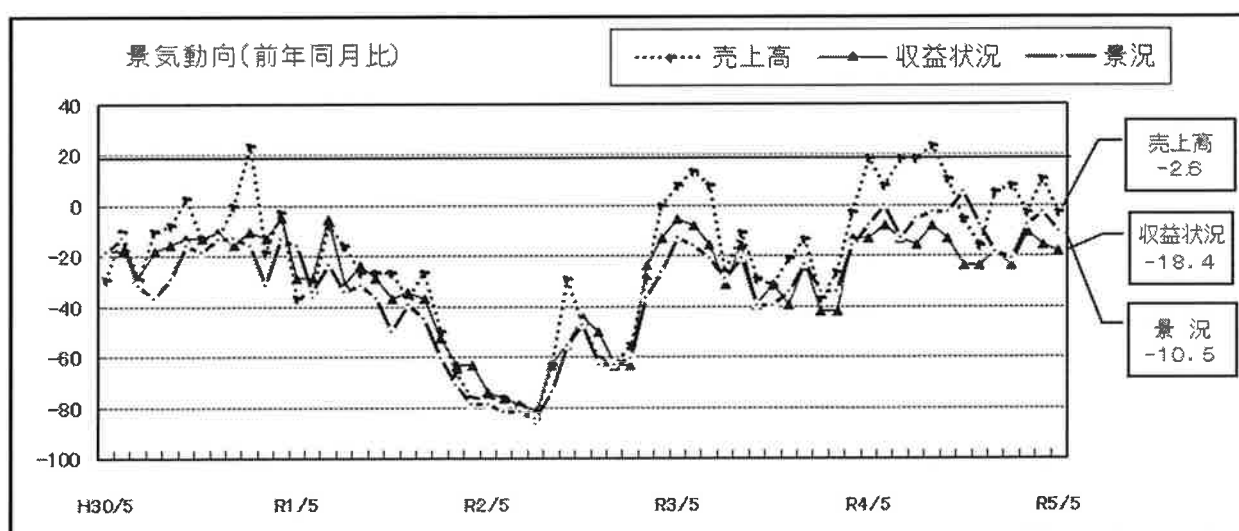
一方、5月の鳥取県内企業倒産は、倒産件数1件（前月2件）、負債総額は5億円（前月18億円）であった。

3. 労働情勢（鳥取労働局職業安定課調べ「労働市場月報4月分」）

鳥取県の4月の有効求人倍率（パートを含む速報値）は1.49倍（季節調整値）（全国有効求人倍率は1.32倍）で、前月より0.02ポイント低下。各所別有効求人倍率（原数値）では、鳥取所1.20倍、米子所1.46倍、倉吉所1.53倍。新規求人倍率（パートを含む速報値）は2.39倍（季節調整値）で、前月より0.41ポイント低下した。

新規求人数は、前年同月比1.6%減少し、有効求人数は0.5%増加となった。産業別に前年同月で比較すると、サービス業（22.4%）、宿泊業・飲食サービス業（10.8%）、医療・福祉（3.0%）で増加した。

新規求職者数は、前年同月比5.5%増加、有効求職者数は前年同月比0.6%増加となった。パートタイムの有効求人倍率（原数値）は1.27倍で、前年同月を0.02ポイント上回った。新規求人数は前年同月を1.7%上回った。



5月の中小企業景況

前月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	15.8%	31.6%	-15.8 -5.3	36.8%	31.6%	5.2 63.1	26.3%	31.6%	-5.3 28.9
(2) 在庫数量	10.5%	0.0%	10.5 5.2	8.3%	8.3%	0.0 0.0	9.7%	3.2%	6.5 3.3
(3) 販売価格	10.5%	10.5%	0.0 -5.3	21.1%	10.5%	10.6 21.2	15.8%	10.5%	5.3 7.9
(4) 取引条件	5.3%	5.3%	0.0 5.3	0.0%	0.0%	0.0 0.0	2.6%	2.6%	0.0 2.6
(5) 収益状況	5.3%	21.1%	-15.8 10.5	15.8%	26.3%	-10.5 31.6	10.5%	23.7%	-13.2 21.0
(6) 資金繰り	0.0%	10.5%	-10.5 5.3	10.5%	10.5%	0.0 26.3	5.3%	10.5%	-5.2 15.9
(7) 設備操業度	5.3%	15.8%	-10.5 10.6						
(8) 雇用人員	0.0%	5.3%	-5.3 -5.3	10.5%	0.0%	10.5 5.2	5.3%	2.6%	2.7 0.0
(9) 景 況	0.0%	36.8%	-36.8 -5.2	21.1%	5.3%	15.8 31.6	10.5%	21.1%	-10.6 13.0

前年同月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	15.8%	47.4%	-31.6 0.0	52.6%	26.3%	26.3 -26.3	34.2%	36.8%	-2.6 -13.1
(2) 在庫数量	10.5%	15.8%	-5.3 -10.6	16.7%	8.3%	8.4 0.0	12.9%	12.9%	0.0 -6.5
(3) 販売価格	42.1%	15.8%	26.3 0.0	47.4%	10.5%	36.9 0.1	44.7%	13.2%	31.5 -0.1
(4) 取引条件	5.3%	10.5%	-5.2 5.3	5.3%	21.1%	-15.8 0.0	5.3%	15.8%	-10.5 2.7
(5) 収益状況	5.3%	52.6%	-47.3 5.3	36.8%	26.3%	10.5 -10.5	21.1%	39.5%	-18.4 -2.7
(6) 資金繰り	0.0%	42.1%	-42.1 0.0	10.5%	21.1%	-10.6 -10.6	5.3%	31.6%	-26.3 -47.3
(7) 設備操業度	15.8%	36.8%	-21.0 0.1						
(8) 雇用人員	5.3%	21.1%	-15.8 -5.3	21.1%	31.6%	-10.5 -5.2	13.2%	26.3%	-13.1 -5.2
(9) 景 況	10.5%	52.6%	-42.1 -10.5	31.6%	10.5%	21.1 -5.2	21.1%	31.6%	-10.5 -7.9

*D I とは、ディフュージョン・インデックスの略。D I 欄上段は、「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

*D I 欄下段は、今月調査D I（上段）から前月調査D I を差し引いた値。

4. 特記事項(景況の変化とその原因・現状等企業経営・業界での問題点)

製 造 業

【食料品】

一般食料品⇒ 原材料費（卵、粉類等）、エネルギー（LP ガス、電気等）価格の上昇、高止まりにより、5%前後の製品価格値上げでは収益の改善は見られない。
醬 油⇒ 2月から3月に実施した値上げの影響により出荷量が減少した。原材料の値上げやエネルギーコスト上昇の影響により収益改善に苦慮している。

【繊維工業】

繊維製品⇒ 秋物の生産に取り掛かっているが、需要は縮小傾向にある。原材料価格高騰等の影響により製造原価が圧迫されており、価格転嫁の動きが進みつつある。自動車用シートは、自動車用半導体不足により、国内の自動車製造自体が減産となっているため、売上高は減少傾向となっている。

ニット製品⇒ 衣料品消費は食料品や電気代などの値上げにより低迷が続いている。市場構造が変化する中でのメーカーとしての存在価値が問われる状況が続いている。

【家具装備品】

⇒ 売上高は前月比、前年同月比ともに減少した。収益状況は前月比で同水準、前年同月比で悪化した。

【木材・木製品】

製 材 品⇒ 製材用素材の入荷量、製材品の生産量はともに前月比で減少した。合板の生産量も前月比で減少となった。丸太は出材しているが、季節的な要因もあり買い気配は弱く、製材品の動きに活発さは感じられない。プレカット加工の稼働率は、前月比35%増加、前年同月比5%増加となった。

【紙・加工品】

和 紙⇒ 新型コロナが5類に移行されたが、取引先からの受注増加にはつながっていない。業界内では後継者の確保に苦慮し2事業所が廃業するなど、厳しい状況が続く。

【印 刷】

⇒ 年度末、年度始め以降稼働の活発化が続いているものの、原材料、エネルギー価格の値上がりに伴う価格転嫁は厳しく利益率低下を危惧している。今後、電気料金の値上げが重なると業況は厳しさを増すことが予想される。

【窯業・土石製品】

生 コ ン⇒ 5月の生コン出荷量は、前月比で約5%減少、前年同月比も3%減少となった。東部地区を中心に引き合いが極端に弱く、前年割れが続いている。セメント価格の値上げ、燃料費高騰が収益を圧迫しており、生コン価格への転嫁に苦慮している。こうしたなか若手人材の確保が課題となっている。

【金属製品】

金 属 加 工⇒ 建築関係は、県内は物件が少なく、県外物件を受注できている事業所は多忙となっている。機械加工は、受注を確保できているものの、全体的に少

なめとなっている。工作機械・産業機械関係は受注が減少傾向となっており、自動車関係も年内の受注は厳しい状況となっている。最低賃金上昇による人件費の増加、電気代や副資材、消耗品等諸経費の値上げの影響により収益を大きく圧迫している。

鉄骨加工⇒ 県内発注の物件量が公共・民間ともに少なく、県内の案件のみを対象としている企業は苦慮している。材料費の高騰をはじめ、溶材など副資材や電気代の上昇など、工場の負担は大きく収益に大きな影響が出ている。価格転嫁については理解が浸透していないこともあり時間が掛かると思われる。

金属熱処理⇒ 大型連休の月であるため受注量を低いとみなすべきであるが、明らかにコロナ以前と比較して顧客である金属加工業者の操業度は低迷している。仕事の回復が遅れており、電力をはじめとするエネルギー経費の上昇による収益圧迫に苦慮している。

【電気機械器具】

⇒ 資材の調達は波があるものの以前に比べ改善してきている。人員不足は慢性的で受注増加の場合は残業対応に追われている。原材料価格高騰は深刻化しており、収益確保に苦慮している。コロナ禍からの資金繰りは厳しく、回復傾向は見られない。

非製造業

【卸売業】

東部地区⇒ 青果関係では、季節の野菜の増加により取扱数量は前月比では増加したものの、前年同月比ではともに減少している。売上高は、前月比では単価の上昇により減少幅は少なくなったものの、前年同月比では単価の低下により大きく減少した。鮮魚関係では、取扱数量は前月比、前年同月比ともに増加した。売上高は、前月比では単価の上昇に伴い前月比、前年同月比で増加した。雇用に関しては、採用後の定着率が安定せず苦慮している。新型コロナウイルスの5類移行を受け、対面営業のための県外出張が増加している。

中部地区⇒ 売店やレストラン等、比較的規模が小さい顧客からオートメーション化（POS レジ等）や、介護施設から移乗リフト導入など省人化、省力化を図る問い合わせが増加しており、労働力不足に対応した動きが見られる。

西部地区⇒ 新型コロナウイルスの5類移行を契機とした対面営業や展示会等が再開されつつある。6月からの食料品、消耗品等の値上げに加え、電気料金のさらなる値上げによる原価への影響が懸念される。

水産物⇒ 巻き網は連休と時化がらみで小休止となったが、その後豆サバ、イワシ、ウルメの水揚げが続き、輸出向けの冷凍魚として冷蔵庫の稼働が高まった。マグロ漁は例年より1週間程度早く初水揚げがあり、大型で良質な身質から高評価で市場に流れた。近海物については底引き漁の最終月となったが、ハタハタ・ホタルイカ・スルメイカの不漁が続いた。紅ズワイガニは前年比で2割程度水揚げ増となったが、蟹シーズンの終了・輸入ガニの価格低下等の需要供給の面に加え人手不足の要因もあり、前年同月よりかなり落ち着いた浜値となった。

リサイクル原料⇒ 価格動向については、前月比、前年同月比ともに低下となった。古紙や鉄スクラップ、ペットボトル等資源価格は全般的に下落が進行している。

【小売業・商店街】

東 部 地 区⇒ 鳥取の商店街では、特別な行動制限のない大型連休中は宿泊・観光客等の利用もあり売上・客数は戻りつつある。コロナ禍も明け夏に向けイベント等により集客増に期待したい。物価高騰による仕入価格の上昇が続いており、店舗の収益を圧迫している。商店街に新店舗がオープンし、少しずつ賑わいが戻りつつある。生活におけるコストの上昇が心理的に与える影響が大きく、一段と消費意欲が減退してきている。新型コロナの5類移行に伴い、各地でイベントも開催されつつあるため、人の流れとともに消費の活性化も期待される。

中 部 地 区⇒ 倉吉の商店街では、新型コロナの5類移行に伴い、人の流れや観光客の入り込みは増加傾向にある。倉吉銀座商店街では、7月、8月の夏のイベントとして恒例の「倉吉銀座土曜夜市」、「みつぼし踊り」などを計画している。キャラクター音楽コンテンツ「ひなビタ♪」との連携や携誘客活動により、シンガポールやマレーシアなどアジア諸国からの来訪者があるなど街の活性化が期待される。

西 部 地 区⇒ 米子の商店街では、広場を使ったイベントとして7月に土曜夜市の開催を予定。元町通り商店街振興組合で広場の利用について貸出のルールを作成し、外部の団体などにイベントで広場を活用してもらいやすい環境づくりを行っていく。

境港市の水産物小売では、売上高は前月比で横ばい、前年同月比で増加となった。境港にクルーズ船の入港が増えるため、今後のインバウンド需要に期待が持たれる。

【旅館・観光】

⇒ 鳥取市の鳥取砂丘では、大型連休期間中の天候も幾分良好で、鳥取砂丘、砂の美術館への観光客の入込数は大幅に増加した。大型連休以降も一般観光客、バスツアーともに好調であったため、売上高は、前月比、前年同月比ともに増加した。

米子市のホテル・旅館では、5月は大型連休と全国旅行支援割により前月比、前年同月比ともに宿泊客数が増加したことから、売上高も前月比、前年同月比ともに増加、収益状況も好転した。業界全体においても物価の上昇に伴い販売価格を上昇させたことから売上も増加し、収益状況も好転、業況も好転した。人手不足は深刻であり、旅行支援終了後、どう集客するかが求められる。また、各旅館ともに設備の老朽化が進んでおり、更新のための費用の捻出が大きな課題となっている。

三朝温泉では、大型連休期間はほとんどの旅館で満室となり、大規模旅館を中心に団体が動き、旅行支援が後半になるにつれ好調となった。

羽合温泉では、新型コロナの5類移行を機に全国旅行支援の利用の際ワクチンの接種証明の提示が不要となったことで駆け込み需要が高まり、大型連休の予約が好調となった。コロナ禍以前の売上と比較し、約9割程度まで回復してきている。

【自動車整備業】

⇒ 新車の販売は普通車、軽自動車を含わせて1,782台で前月比が約6%減少、前年同月比は約1%の増加となった。中古車は627台で前月比約2

0%減少、前年同月比は約5%の増加となった。継続検査（軽自動車を含む）は14,571台となり前月比で0.3%増加、前年同月比は約2%の増加となった。普通車の新車の供給は正常になりつつあるが、軽自動車は厳しい状況にある。

【建設業】

⇒ 4月の県内公共工事発注（西日本建設業保証㈱保証取扱）は、請負金額111億円（前年同月比14.7%増）、件数170件（前年同月比9.6%減）となった。住宅投資は、単月は前年比プラスに振れるも、3ヵ月平均はマイナスが続く。設備投資は単月、3ヵ月平均ともに前月比プラスが続く。公共投資は国などが大幅に押し上げ、2ヵ月連続で前年比プラスとなった。建設資材やエネルギー価格の高騰が継続し、人手不足に苦慮しているものの、人材不足の打開に向け、賃金の引き上げや育成に向けた動きも出はじめている。

4月の鳥取県新設住宅着工戸数は223戸（持家175戸、貸家48戸）で、前月比26%増加、前年同月比6%増加となった。

【運輸業】

東部地区⇒ 5月の物流は、製造業等の出荷量は生産調整などもあり物流は横ばいで推移している。農産物（らっきょう）の初出荷もあり輸送の増加も見られたが、全般的に荷物の不足傾向が続き好転の兆しが見られない。復路荷物の情報量も不足傾向にあり、空車で運行もみられ対応に苦慮している。売上高は稼働日数の減少から前月比、前年同月比ともに減少傾向が見られ、燃料価格の高値が続き厳しい状況が続いている。

西部地区⇒ 燃料価格については、わずかに減少に転じたものの、補助金投入解除の影響により6月以降は価格上昇が懸念される。運送稼働状況についても、大型連休以降急激に鈍化するなど、原材料価格に伴う製造工場の生産調整が伺える。総じて先行き不透明な状況が続いている。

5. 中央会・行政庁への連絡要請事項

- ・国土強靱化事業の推進に期待をしているので、県として国への予算要求に力点を置いてほしい。【生コンクリート製造業】
- ・過去に例を見ないほど新規工事が少なく、立ち行かない工場が出てくる恐れもあるため早急に対応を求める。【生コンクリート製造業】
- ・電力費の負担に対する十分な補助を求める。【金属熱処理業】
- ・コロナ融資の返済期限の猶予措置やさらなる追加融資を求める。また、省エネに対する設備等対策費の支援を望む。【電子部品製造業】
- ・飲食に限らず業種に偏りのない需要喚起策を望む。事業者の高齢化に対する事業承継等の支援を望む。【商店街】
- ・イベント時のトイレなど設備設置の対応。【商店街】
- ・ここ数年の景況悪化も多大であり、全国旅行支援も終了となるため引き続き支援策を打ち出してほしい。【旅館業】

最近の指標の前月比D I の推移

		2022年												2023年	
		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	前年との増減幅
売 上 高	製 造 業	-21.0	0.0	10.5	-21.0	21.0	-10.5	-15.8	-10.5	-31.5	-10.5	0.0	-10.5	-15.8	5.2
	非製造業	21.1	10.5	0.0	0.0	-5.3	15.7	26.3	-10.5	-36.9	31.6	57.9	-57.9	5.2	-15.9
	全 業 種	-5.2	5.3	5.2	-10.5	7.9	2.6	5.3	-10.5	-34.2	10.5	28.9	-34.2	-5.3	-0.1
在庫数量	製 造 業	10.5	15.8	21.1	5.2	5.2	-5.2	0.0	-10.5	5.2	0.0	0.0	5.3	10.5	0.0
	非製造業	8.4	8.4	0.0	-8.3	-8.4	8.4	8.4	8.3	8.4	8.3	16.7	0.0	0.0	-8.4
	全 業 種	9.7	12.9	12.9	0.0	0.0	0.0	-3.2	-3.2	6.4	3.2	6.7	3.2	6.5	-3.2
販売価格	製 造 業	26.3	15.8	26.3	26.3	21.1	21.1	26.3	26.3	21.0	21.1	0.0	5.3	0.0	-26.3
	非製造業	26.3	26.3	36.8	26.3	5.3	31.5	42.1	26.3	10.6	15.8	15.8	-10.6	10.6	-15.7
	全 業 種	26.3	21.1	31.6	26.3	13.2	26.3	34.2	26.3	15.8	18.4	7.9	-2.6	5.3	-21.0
取引条件	製 造 業	-15.8	-5.2	5.2	0.0	-5.3	-15.8	-10.5	-10.5	-5.3	-10.5	0.0	-5.3	0.0	15.8
	非製造業	5.3	-5.3	-5.3	-5.3	-5.2	0.0	-5.3	0.0	-5.3	-5.3	0.0	0.0	0.0	-5.3
	全 業 種	-5.3	-5.3	0.0	-2.7	-5.3	-7.9	-7.9	-5.3	-5.3	-7.9	0.0	-2.6	0.0	5.3
収益状況	製 造 業	-36.8	-15.8	-15.8	-26.3	-15.8	-26.3	-36.8	-26.3	-31.6	-31.6	-5.2	-26.3	-15.8	21.0
	非製造業	-10.5	-15.7	-15.8	-5.2	-15.8	10.5	15.8	-5.3	-31.5	0.0	21.1	-42.1	-10.5	0.0
	全 業 種	-23.6	-15.8	-15.8	-15.8	-15.7	-7.9	-10.5	-15.8	-31.6	-15.8	7.9	-34.2	-13.2	10.4
資金繰り	製 造 業	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-5.3	-10.5	-5.3	-5.2	-21.1	-10.5	-15.8	-10.5	0.0
	非製造業	5.3	-15.8	0.0	0.0	-21.1	10.5	15.8	-15.8	-15.8	0.0	10.5	-26.3	0.0	-5.3
	全 業 種	-2.6	-13.2	-5.3	-5.2	-15.8	2.6	2.6	-10.5	-10.6	-10.5	0.0	-21.1	-5.2	-2.6
設備操業度	製 造 業	-10.6	5.3	5.3	-10.6	0.0	-10.6	10.5	-21.1	-5.3	-5.3	0.0	-21.1	-10.5	0.1
雇用人員	製 造 業	-5.3	-5.3	-5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-10.5	-5.3	-10.5	0.0	-5.3	0.0
	非製造業	21.1	0.0	0.0	15.8	-5.3	5.3	0.0	-5.3	-15.8	-5.3	0.0	5.3	10.5	-10.6
	全 業 種	7.9	-2.7	-2.6	7.9	-2.6	-2.6	0.0	-2.6	-13.2	-5.3	-5.2	2.7	2.7	-5.2
景 況	製 造 業	-21.0	-15.8	-10.5	-1.5	-26.3	-36.8	-31.5	-26.3	-36.8	-42.1	-26.3	-31.6	-36.8	-15.8
	非製造業	-10.5	-15.8	-21.1	5.2	-26.3	0.0	15.8	0.0	-31.5	5.3	21.1	-15.8	15.8	26.3
	全 業 種	-15.7	-15.8	-15.7	-2.6	-26.3	-18.4	-7.9	-13.2	-34.2	-18.4	-2.6	-23.6	-10.6	5.1

最近の指標の前年同月比D I の推移

		2022年												2023年	前年との増減幅
		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
売 上 高	製 造 業	-21.0	-10.5	5.3	5.3	0.0	-5.3	-10.5	-36.8	-26.3	-15.8	-36.8	-31.6	-31.6	-10.6
	非製造業	57.9	26.3	31.6	31.5	47.4	26.4	0.0	5.3	36.9	31.6	31.6	52.6	26.3	-31.6
	全 業 種	18.4	7.9	18.4	18.4	23.6	10.5	-5.3	-15.8	5.3	7.9	-2.7	10.5	-2.6	-21.0
在庫数量	製 造 業	5.2	15.8	10.6	21.1	21.1	15.8	10.5	5.3	10.5	0.0	-10.5	5.3	-5.3	-10.5
	非製造業	33.3	25.0	16.7	25.0	-16.7	0.0	-16.7	8.3	16.7	16.7	16.7	8.4	8.4	-24.9
	全 業 種	16.2	19.3	12.9	22.6	6.4	9.6	0.0	6.5	12.9	6.5	0.0	6.5	0.0	-16.2
販売価格	製 造 業	42.1	31.6	42.1	42.1	47.4	47.4	57.9	47.4	31.5	36.8	21.0	26.3	26.3	-15.8
	非製造業	26.3	36.8	42.1	42.1	36.9	36.8	10.5	42.1	52.6	21.1	26.3	36.8	36.9	10.6
	全 業 種	34.2	34.2	42.1	42.1	42.1	42.1	34.2	44.7	42.1	28.9	23.6	31.6	31.5	-2.7
取引条件	製 造 業	-21.1	-5.2	0.0	0.0	-5.2	-15.8	0.0	0.0	-5.2	-5.3	-5.2	-10.5	-5.2	15.9
	非製造業	-5.3	-5.3	5.3	-15.8	-5.3	5.3	-10.5	-10.5	-5.3	-15.8	-21.1	-15.8	-15.8	-10.5
	全 業 種	-13.2	-5.3	2.7	-7.9	-5.3	-5.3	-5.3	-5.3	-5.3	-10.5	-13.8	-13.2	-10.5	2.7
収益状況	製 造 業	-31.6	-21.0	-31.6	-36.8	-36.9	-47.3	-42.1	-42.1	-57.9	-63.2	-52.6	-52.6	-47.3	-15.7
	非製造業	5.3	5.3	5.3	5.3	21.0	21.0	-5.3	-5.3	21.1	15.8	31.6	21.0	10.5	5.2
	全 業 種	-13.1	-7.9	-13.1	-15.8	-7.9	-13.1	-23.7	-23.7	-18.4	-23.7	-10.5	-15.7	-18.4	-5.3
資金繰り	製 造 業	-15.8	-10.5	-21.1	-10.5	-5.3	-26.3	-10.5	-10.5	-15.8	-31.6	-31.6	-42.1	-42.1	-26.3
	非製造業	-5.3	10.6	-5.3	-10.5	10.6	15.8	5.3	-5.3	5.3	5.3	5.3	0.0	-10.6	-5.3
	全 業 種	-10.5	0.0	-13.2	-10.5	2.6	-5.2	-2.7	-7.9	-5.3	-13.2	-13.2	21.0	-26.3	-15.8
設備操業度	製 造 業	-21.1	-5.3	-5.3	0.0	-10.6	-10.5	0.0	-15.8	-15.8	21.1	-15.8	-21.1	-21.0	0.1
雇用人員	製 造 業	-5.3	-5.3	-5.3	-5.3	-5.2	-10.5	0.0	5.3	-10.5	-10.5	-15.8	-10.5	-15.8	-10.5
	非製造業	10.6	-5.3	-10.6	0.0	-5.3	0.0	-5.2	-15.8	-10.6	10.5	-5.3	-5.3	-10.5	-21.1
	全 業 種	2.6	-5.2	-7.9	-2.6	-5.3	-5.2	-2.6	-5.3	-10.5	0.0	-10.5	-7.9	-13.1	-15.7
景 況	製 造 業	-15.8	-10.5	-21.0	-15.8	-15.8	-21.0	-10.5	-21.1	-31.6	-42.1	-42.1	-31.6	-42.1	-26.3
	非製造業	0.0	10.5	-5.3	5.3	10.5	15.8	21.1	5.3	-5.2	0.0	26.3	26.3	21.1	21.1
	全 業 種	-7.9	0.0	-13.1	-5.2	-2.6	-27.0	5.3	-7.9	-18.4	-21.1	-7.9	-2.6	-10.5	-2.6

情報連絡員報告総括表(令和5年5月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

1-1 業界の景気動向(前月比)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況			
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	
製造業	食料品	1	0	1	1	1	0	2	0	1	1	0	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1	
	繊維工業	0	2	1	1	2	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	2	1	0	3	0	0	3	0	0	2	
	木材・木製品	2	1	1	0	4	0	0	3	1	0	4	0	1	3	0	0	3	1	1	2	1	0	3	1	0	2	
	紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	
	出版・印刷	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	
	化学ゴム																											
	窯業・土石製品	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	
業	鉄鋼・金属	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	1	
	一般機器	0	1	2	0	3	0	1	2	0	0	2	1	0	2	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	2	
	電気機器	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	
	輸送用機器																											
	その他																											
	19	3	10	6	2	17	0	2	15	2	1	17	1	1	14	4	0	17	2	1	15	3	0	18	1	0	12	7
	100%	15.8%	52.6%	31.6%	10.5%	89.5%	0.0%	10.5%	78.9%	10.5%	5.3%	89.5%	5.3%	73.7%	21.1%	0.0%	89.5%	10.5%	5.3%	78.9%	15.8%	0.0%	94.7%	5.3%	0.0%	63.2%	36.8%	
非製造業	卸売業	1	3	2	1	4	1	2	2	2	0	6	0	0	4	2	0	6	0			0	6	0	1	5	0	
	小売業	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0			0	1	0	0	1	0	
	商店街	1	2	1	0	4	0	0	4	0	0	4	0	0	3	1	0	3	1			0	4	0	0	3	1	
	サービス業	4	0	1				2	3	0	0	5	0	3	1	1	2	3	0			2	3	0	3	2	0	
	建設業	1	0	0				0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1			0	1	0	0	1	0	
	運輸業	0	0	2				0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0			0	2	0	0	2	0	
	その他																											
業	19	7	6	6	1	9	1	4	13	2	0	19	0	3	11	5	2	15	2			2	17	0	4	14	1	
	100%	36.8%	31.6%	31.6%	8.3%	75.0%	8.3%	21.1%	68.4%	10.5%	0.0%	100.0%	0.0%	15.8%	57.9%	26.3%	10.5%	78.9%	10.5%			10.5%	89.5%	0.0%	21.1%	73.7%	5.3%	
	38	10	16	12	3	26	1	6	28	4	1	36	1	4	25	9	2	32	4	1	15	3	2	35	1	4	26	8
	100%	26.3%	42.1%	31.6%	9.7%	83.9%	3.2%	15.8%	73.7%	10.5%	2.6%	94.7%	2.6%	10.5%	65.8%	23.7%	5.3%	84.2%	10.5%	5.3%	78.9%	15.8%	5.3%	92.1%	2.6%	10.5%	68.4%	21.1%

情報連絡員報告総括表（令和5年5月分）

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回 答 数 38(100%)

1－2 業界の景気動向（前年同月比）

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況		
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化
食料品	1	0	1	0	0	2	2	0	0	1	1	0	0	0	2	0	0	2	1	0	1	0	1	1	0	0	2
繊維工業	0	1	2	1	2	0	1	2	0	0	3	0	0	2	1	0	3	0	0	1	2	0	2	1	0	3	0
木材・木製品	0	1	3	0	3	1	1	1	2	0	3	1	0	2	2	0	1	3	0	3	1	0	3	1	0	0	4
紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
出版・印刷	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0	1	1	0
化学ゴム																											
窯業・土石製品	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1
鉄鋼・金属	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	0	2	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	1	1
一般機器	1	1	1	0	3	0	2	1	0	0	2	1	0	1	2	0	2	1	0	1	2	0	2	1	0	1	2
電気機器	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0
輸送用機器																											
その他																											
19	3	7	9	2	14	3	8	8	3	1	16	2	1	8	10	0	11	8	3	9	7	1	14	4	2	7	10
100%	15.8%	36.8%	47.4%	10.5%	73.7%	15.8%	42.1%	42.1%	15.8%	5.3%	84.2%	10.5%	5.3%	42.1%	52.6%	0.0%	57.9%	42.1%	15.8%	47.4%	36.8%	5.3%	73.7%	21.1%	10.5%	36.8%	52.6%
卸売業	2	2	2	1	4	1	3	2	1	1	5	0	1	3	2	0	6	0				0	4	2	1	5	0
小売業	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0				0	1	0	0	1	0
商店街	1	2	1	0	4	0	2	2	0	0	3	1	0	3	1	0	2	2				0	2	2	0	3	1
サービス業	5	0	0				3	2	0	0	3	2	5	0	0	2	3	0				4	1	0	5	0	0
建設業	1	0	0				1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1				0	0	1	0	0	1
運輸業	0	0	2				0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	1	1				0	1	1	0	2	0
その他																											
19	10	4	5	2	8	1	9	8	2	1	14	4	7	7	5	2	13	4				4	9	6	6	11	2
100%	52.6%	21.1%	26.3%	16.7%	66.7%	8.3%	47.4%	42.1%	10.5%	5.3%	73.7%	21.1%	36.8%	36.8%	26.3%	10.5%	68.4%	21.1%				21.1%	47.4%	31.6%	31.6%	57.9%	10.5%
38	13	11	14	4	22	4	17	16	5	2	30	6	8	15	15	2	24	12	3	9	7	5	23	10	8	18	12
100%	34.2%	28.9%	36.8%	12.9%	71.0%	12.9%	44.7%	42.1%	13.2%	5.3%	78.9%	15.8%	21.1%	39.5%	39.5%	5.3%	63.2%	31.6%	15.8%	47.4%	36.8%	13.2%	60.5%	26.3%	21.1%	47.4%	31.6%